

12-1 歳出の状況(一般会計 性質別)

- 義務的経費は、5.1%、76億円の増となっています。
 - ・人件費は、特別区人事委員会勧告に基づくベースアップなどにより、1.6%、7億円の増となっています。
 - ・扶助費は、児童手当給付金や妊婦のための支援給付の増などにより、6.5%、67億円の増となっています。
 - ・公債費は、特別区債償還利子等の増などにより、10.8%、2億円の増となっています。
- 投資的経費は、8.3%、45億円の減となっています。

(仮称)大田区子ども家庭総合支援センター施設の整備のほか、小・中学校の改築に引き続き着手するなど、公共施設の維持更新を計画的に行います。

また、地域活動の拠点となる複合施設や公園の魅力づくり、新空港線整備を契機としたまちづくりを推進するなど、重要な成長戦略である社会資本の整備を着実に進めます。
- その他の経費は、6.2%、84億円の増となっています。

4つの重点ポイントの取組を推進するなど、喫緊の課題に対応するとともに、未来志向の戦略的な施策に財源を配分しました。

【性質別歳出の状況】

(単位:億円、%)

区 分	7年度		6年度当初		増減額	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
義務的経費	1,573	44.6	1,497	43.9	76	5.1
人件費	462	13.1	455	13.3	7	1.6
扶助費	1,093	31.0	1,026	30.1	67	6.5
公債費	18	0.5	16	0.5	2	10.8
投資的経費	502	14.2	547	16.0	△45	△8.3
その他の経費	1,452	41.2	1,368	40.1	84	6.2
他会計繰出金	248	7.0	274	8.0	△26	△9.5
他会計繰出金以外	1,204	34.1	1,094	32.1	110	10.1
合計	3,527	100.0	3,412	100.0	115	3.4